

『画家モリゾ  
マネの描いた美女  
～名画に隠された秘密～』

6月27日(土)  
名演小劇場にて公開  
配給：ユナイテッド・シネマ  
配給協力：KADOKAWA

N A G O Y A  
C I N E M A  
C A F E

<映画パーソナリティー 河村由美>

マネが描いた謎の美女は  
印象派を代表する画家だった  
名画誕生の陰に  
どんな秘め事があったのか――



©K'ien Productions - 2012Reserved.

画家同士のカップルというのは  
うまくいくものだろうか？  
強い共感で結ばれる一方で、嫉  
妬や羨望に悩まされたり、映画『ビ  
ッグ・アイズ』に描かれたマーガ  
レット&ウォルター・キーン夫妻  
のように間違った方向に進んでし  
まうこともあるのでは？ マネと  
モリゾ、この二人が実際に恋人同  
士であったのかは噂の域を出ない

が、その複雑で繊細な関係は私た  
ちの想像力をおおいに刺激する。  
裕福な家庭に育ち、姉と共に絵  
画を習っていたベルト・モリゾは、  
一八六五年にマネの代表作「オ  
ランピア」に出会い衝撃を受け  
た。裸の娼婦を描いたこの作品は  
当時としてはかなりスキャンダラ  
スで、人々の批判の対象となる一  
方で、新しい時代の幕開けを予感

させる作品として評価されてもい  
た。女はやはり、こういうチャレ  
ンジングで才気溢れる男に弱いも  
のだ。マネからモデルを依頼され  
たモリゾは(少し焦らしながらも)  
これを引き受け、絵画の指南も受  
けた。  
ちなみに一九世紀の女性が外で  
働くことはまずなく、ましてや画  
家として自立することは考えられ  
ない時代だったのだが、モリゾは  
結婚よりも画家として成功するこ  
とで頭がいっぱいだったようだ。  
後に彼女はモネやドガ、ルノワ  
ールと並んで印象派を代表する画家  
へと成長し、さらにはマネではな  
く彼の弟と結婚して人生の円熟期  
を迎えるのだが、そこに至るまで  
の若き日々を、ジャン＝リュック・  
ゴダール監督などの作品で撮影監  
督として手腕を発揮してきたカロ  
リーヌ・シャンプティエ監督が描  
き出す。モリゾという女性を多面  
的に捉え、揺れ動く女心を表現で  
きたのは、同じ女性であるからこ  
そだろう。マネの名画に描かれた  
モリゾのイノセントな瞳は、今で  
も私たちに語りかけてくるようだ。